



平成 28 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社宮入バルブ製作所  
 代 表 者 代表取締役社長 西田 憲司  
 (コード番号 6495)  
 問合せ先 執行役員経営管理部長 市川 浩  
 (TEL 03-3535-5575)

## 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 5 月 6 日に公表しました平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 29 年 3 月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と実績値との差異 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,280	50	45	41	0.86
実 績 値 (B)	2,089	36	30	4	0.09
増 減 額 (B-A)	△191	△14	△15	△37	
増 減 率 (%)	△8.4	△26.2	△33.2	△89.6	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 28 年 3 月期第 2 四半期)	2,384	△7	3	△0	△0.01

#### 2. 平成 29 年 3 月期通期業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	4,940	104	93	84	1.76
今回修正予想 (B)	4,750	104	93	84	1.76
増 減 額 (B-A)	△190	—	—	—	
増 減 率 (%)	△3.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	5,127	81	66	229	4.80

### 3. 差異および修正の理由

売上高について、L P ガス容器用弁は、販売価格の見直しにより販売単価は改善したものの、需要が伸び悩んだこと、および競合他社との競争が激しくなったことにより予想数値を下回りました。また、L P ガス鉄鋼製装置用弁は、造船市場が当初予想以上に冷え込んだため、海上用輸送用弁が減少したことにより予想数値を下回りました。以上により、売上高は、前回予想比 8.4% の減少となりました。

営業利益について、主要原材料の黄銅材の価格が安定したこと、および原価低減を図るための諸施策（工場の稼働率安定向上を目指し当期より平準化生産を実施、また、部品の内製化促進等を行いました。）により売上高総利益率は前期 13.9% から当期 18.4% と 4.5 ポイント改善しましたが、売上高が前回予想を下回ったため、予想比 26.2% の減少となりました。

経常利益については、営業利益の結果を受け、債権回収の一環として破産管財人に対する支払いを営業外費用に計上したことにより前回予想を下回る結果となりました。

四半期純利益については、海外の特定の取引先に対する一部製品の販売が大幅な不採算であり、改善の見込みが立たないと判断し事業整理損を特別損失に計上したことにより前回予想を下回る結果となりました。

平成 29 年 3 月期の通期業績予想については、下期は L P ガス容器用弁の繁忙期に入るため、下期の売上高予想は達成可能と考えられますので、上期未達分を通期の売上高予想から減額し通期予想を修正します。利益については、上期の収益向上傾向が継続すると想定されることから、通期予想を変更しないこととします。

なお、配当予想につきましても変更ありません。

※ 上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想値と異なる可能性があります。

以 上